

活 用 事 例	愛知県豊橋市立牛川小学校	鈴木康弘校長
活用事例タイトル	お手伝い大作戦！「お手伝い大好き」になるための道	
対象授業科目/活動	生活	
授業または活動の概要(目的、実施時期、授業の場合教科名や単元名、対象学年、参加人数、ICTの使用局面など)	<p>【単元名】 お手伝い大作戦！「お手伝い大好き」になるための道</p> <p>【授業者】 佐藤朋代教諭</p> <p>【対象学年】 小学 1 年</p> <p>【ICT 使用場面】 本学級の子どもたちは、「お手伝いしてくれますか？」と声をかけると意欲的に取り組むことができる。家庭でもお手伝い経験のある子が多い。一方で、身のまわりのことをやってもらって当たり前と思っている子もいる。そこでお手伝いを通して家族のことに気づき自分にできることはないか考え、行動できるようになってほしいと考えた。本単元で場を設定したお手伝い体験を継続させたところアンケートでは「もっとじょうずになりたい」と 25 人（78%）が答え、お手伝いについて向上心をもっていることがうかがえた。 本時では、もっと上手にお手伝いをするために教えてもらいたいと思うことを発表する場面や、それに対して意見を伝える場面においてOHCやビデオカメラの映像を活用することで、伝えたい意欲を高めたり自信をもって発表させたりしたい。友達の発表を聞いて自分の知っていることや体験から学んだことを伝えることができれば、更に今後の活動の意欲を高めることができると考える。</p>	
ICT 活用により期待できる効果 ICT 活用のねらい	<p>【単元のねらいと目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭での生活や家族のことについて、興味関心をもってお手伝いに取り組み、自分にできる役割を行うことができる。 (関心・意欲・態度) ・ 家族のことや自分でできることを考え、家庭や家族のことについて調べたことや体験したことをまとめたり表現したりできる。 (思考・表現) ・ 家庭生活は家族の温かさや家族の仕事によって支えられていることに気づくことができる。 (自分自身への気づき) 	

1 単元名 お手伝い大作戦！「お手伝い大好き」になるための道（本時15／19）

2 単元の目標

- ・ 家庭での生活や家族のことについて、興味関心をもってお手伝いに取り組み、自分にできる役割を行うことができる。（関心・意欲・態度）
- ・ 家族のことや自分でできることを考え、家庭や家族のことについて調べたことや体験したことをまとめたり表現したりできる。（思考・表現）
- ・ 家庭生活は家族の温かさや家族の仕事によって支えられていることに気づくことができる。（自分自身への気づき）

3 単元の構想 19時間完了（※支援・留意点 ◆ICT活用）

家のみんなが助け合っているよ ②

○家族や家の仕事について考える。

- ・ お父さんは会社で遅くまで働いているよ
- ・ お母さんが毎日ご飯を作ってくれるよ
- ・ 家の仕事って何のことかな お母さんは昼に何をしてるのかな？

私にできることあるかな ②

○家の人がいつ、どんな仕事をしているのか調べる。

- ・ お母さんが一番たくさん仕事をしているよ 疲れないか、心配だな

○家でやってみたい仕事を決める。

- ・ 私は上靴を洗ってみる お姉ちゃんがやってるから教えてもらおう

私もできるようにになりたいな ③

○興味のあることを練習する。

- ・ 上靴の底はごしごしするときれいになるよ

○友達の練習を見て更に自分にできることを考える。

- ・ 上靴だけではなく、靴も洗ってみよう
- ・ お母さんのお手伝いがしたいから、お料理のお手伝いもしよう

家で挑戦したことを紹介しよう④

○考えた仕事を家で挑戦する。

- ・ お母さんと一緒に掃除をしたよ ・ お風呂掃除は任せといて

○発表会の計画を立てる。

- ・ お手伝いの様子を見せたいな 学校のタブレットを借りていこう

○お手伝い大作戦の発表をし家の人からのメッセージを読む。

- ・ できるようになったことをみんなに聞いてもらいたいな
- ・ お母さんにありがとうって言われてうれしいな

もっと上手になりたいな⑥（本時4／6）

○今までの活動や自分について振り返る。

- ・ お母さんがやってくれるから、やらなくてもいいかなって思ってたよ
- ・ お手伝いカードに書ききれないくらいお手伝いができたよ

○ちょっと教えてほしいなの掲示板を作る。

- ・ 洗濯物は手で伸ばすときれいにたためるって、Aちゃんの発表でわかったけどうまくたためないなあ Aちゃんもう一度教えて

○もっと上手にお手伝いができるように調べ発表する。（本時）

- ・ 洗濯物は畳の上に広げてたたむといいって、お母さんが言ってたよ やってみたら前よりうまくなったよ

○もう一度お手伝いにチャレンジする。

- ・ お風呂はぬるぬるしないようにスポンジで何回もこするといいってB君が言ってたね それにB君はお風呂の外の床もごしごしやっていたなあ ぼくもやってみたらおうちのの人に喜んでもらったよ

家の人に手紙を書こう②

○活動を振り返り、家族に手紙を書く。

- ・ ありがとう おうちのことをするのって大変だねって書くよ
- ・ これからもずっとお手伝いするからねって書こうかな

※家族にしてもらっていることに気づくことができるように、意見を交流させ、考えを広げる。

◆仕事の様子を具体的に説明するために、写真を大型テレビで提示する。【情報共有】

※もっと知りたい、やってみたいという意欲を高めるために、調べた仕事を付箋に書き込み掲示板にまとめ、さまざまな仕事があることに気づかせる。

◆家庭や学校でお手伝いの様子を聞く人にわかりやすく伝えるために、タブレット端末で撮影した写真や映像を大型テレビで提示する。

【表現・説明】

※お手伝いがなかなか決まらない子には尋ね返ししながら興味のあることを引き出す。

◆活動の様子や手順・方法などを具体的に伝えるために、ビデオカメラやOHCで撮影し大型テレビで提示する。【表現・説明】

◆今後のお手伝い活動への自信や意欲を高めるために、保護者から励ましのビデオメッセージをもらい、児童に提示する。【興味関心】

※家族からのメッセージを聞くことで、自分にできる役割に気づかせる。

※小グループで話し合いをくり返すことで、自分の言葉で伝える自信をつけ発表に臨ませる。

◆伝えたい場面や活動の様子をより詳しく説明するために、タブレット端末やデジタルカメラで撮影する。【表現・説明】

◆もっと上手になりたいことが具体的に伝わるように、ビデオカメラやOHCで撮影し大型テレビで提示する。【表現・説明】

※活動の振り返りを深めるために家族に向けて、お手伝いの内容やお手伝いを通して気づいたことを手紙として書く。

家族のみんなが家の仕事をしているのがよかったよ 私たちも家族のためにできることをしたいな
家族のみんなが大好きだよ

4 本時の授業について

本学級の子どもたちは、「お手伝いしてくれますか？」と声をかけると意欲的に取り組むことができる。家庭でもお手伝い経験のある子が多い。一方で、身のまわりのことをやってもらって当たり前と思っている子もいる。そこでお手伝いを通して家族のことに気づき自分にできることはないか考え、行動できるようになってほしいと考えた。本単元で場を設定したお手伝い体験を継続させたところアンケートでは「もっとじょうずになりたい」と25人(78%)が答え、お手伝いについて向上心をもっていることがうかがえた。

本時では、もっと上手にお手伝いをするために教えてもらいたいと思うことを発表する場面や、それに対して意見を伝える場面においてOHCやビデオカメラの映像を活用することで、伝えたい意欲を高めたり自信をもって発表させたりしたい。友達の発表を聞いて自分の知っていることや体験から学んだことを伝えることができれば、更に今後の活動の意欲を高めることができると考える。



(1) 目標

- ・ 教えてほしいと思うことや、友達の意見を聞いて自分の意見を発表することができる。
- ・ 友達の活動の様子や意見を聞いて、更にお手伝いの意欲を高めることができる。

(2) 準備 教師 PC, OHC, ビデオカメラ, 映像資料, ワークシート

児童 お手伝い発表に必要なもの, ワークシート

(3) 展開

時間	学 習 活 動	※支援・留意点	◆ICT活用	☆評価(方法)
	1 お手伝いについて上手になりたいことを発表し、友達の発表を聞いてアドバイスを話し合う。			
	お手伝いで、もっと上手になりたいと思うことをグループごとに発表しよう			
	<p>○米とぎグループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水を捨てるときに米粒が落ちないようにしたいな ・水替えを少ない回数でやりたいな どうやるといいのかな  <ul style="list-style-type: none"> ・水を捨てるときにざるを使うと米粒を落とすもざるがうけてくれるよ ・指先より親指の付け根を使ってとぐといいよ 	<p>○食器洗いグループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・油でべたべたしたお皿やなっとうのぬるぬるのお茶碗が洗にくいよ ・油でべたべたのスポンジでコップを洗ったらコップもべたべたしたよ  <ul style="list-style-type: none"> ・汚れをティッシュなどで取ってから洗うといいよ ・あまり汚れていない食器から洗うといいって聞いたよ 	<p>◆もっと上手になりたいことが具体的に伝わるように、ビデオカメラやOHCで撮影し、大型テレビで提示する。 【表現・説明】</p> <p>※参考になる工夫やアドバイスを中心に子どもたちの意見を交流させる。 ※言葉が少ない意見には、尋ね返しながらよいアイデアに集中できるように教師が言葉を補う。</p> <p>☆教えてほしいと思うことを発表したり、友達の意見を聞いて自分の意見を発表したりすることができたか。 (発表・発言)</p>	
30	2 家の人からの手紙を読む。			
	家の人から手紙が届いたよ 見てみよう			
	<ul style="list-style-type: none"> ・お父さんとお母さんからありがとうと言ってもらえてうれしいな 今日からまたお手伝いががんばるよ ・お手伝いが上手になったね、って書いてあるよ ・もっと練習して上手になりたいな 		<p>※保護者からの手紙をもらうことで、家族の温かさや自分の成長に気づかせる。</p>	
35	3 学習のまとめをする。			
	これからやってみたいことを書こう			
	<ul style="list-style-type: none"> ・お母さんみたいにおいしいご飯を作りたいな ・友だちが教えてくれたように上手にお米をとみよう ・洗濯物をきれいに畳むとお父さんが喜んでくれたよ ・もっと練習して家族みんなに喜んでもらいたいな 		<p>※文を書くことが困難な児童には、保護者からの手紙の返事を書くつもりでまとめるように声をかける。</p> <p>☆今までの発表や意見を聞いて、更にお手伝いの意欲を高めることができたか。 (発言・ワークシート)</p>	